

目線の先には

令和8年2月18日



戸外遊び時水道で水を出しその横にじっと座っていたM君。「なにをみているんだろう…」と思い、声は掛けずに静かに隣に座り様子を見ていました。

水の流れていく音や水が跳ねていく様子、そして水溜りができた先に丸く円が出来ている様子などなど…。側に行くことで気づくことが多くありました。

近くにいたお友だちや小さいクラスの子には「濡れちゃうからダメ!」「止めて!」と言われていましたが、そこは保育者の出番。

M君が今何を楽しんでいるかを見極め、とことん楽しめる環境を整えるのも大人の役割です。

10分程一言も発せずじっと流れを見ていたM君が一言、「おもしろかった」と。

何が面白く感じたのか多くは語りませんが、そばにいたからこそ気づけたこともありました。

水が冷たくて気持ちいいね。

もし声を掛けていたら、集中していたのに途切れてしまったかもしれません。そばで静かに子どもの思いを読み取ることも大切なんだと改めて気づいた瞬間です。興味関心が沸いたものに、とことん楽しめる環境整備を今後も行える保育者になりたいです。

